



学校だより

松葉小HP



3月号 No. 11

令和8年2月27日

台東区立松葉小学校

校長 松尾 敦

Tel 3841-2627

今年度の締めくくりの月・来年度にはばたくための月

校長 松尾 敦

2月下旬は、連日ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの話題で盛り上がりました。中でも「りくりゅうペア」によるフィギュアスケート・ペア種目での金メダル獲得は、日本中に大きな感動を与えてくれました。ショートプログラム5位からの大逆転、そしてフリースケーティングではすべての技を完璧に決め、世界歴代最高得点となる158.13点を叩き出しての快挙でした。日本勢がこの種目で金メダルを獲得するのは史上初ということもあり、三浦璃来選手と木原龍一選手の偉業に、誰もが歓喜したことでしょう。松葉小の校庭は決して広くはありませんが、立春を過ぎてもなお冷え込みの厳しい中、子供たちは元気いっぱいボール遊びや鬼ごっこ、鉄棒、体育朝会で紹介された遊びなどを楽しんでいます。その姿を見ていると、将来この中からオリンピックの舞台で活躍する子が現れるかもしれない...そんな夢を抱かずにはいられません。

2月14日(土)には、昨年度6年ぶりに復活した「まつばマラソン」を実施しました。多くの保護者の皆様の温かい応援が、子供たちの力となっている様子が印象的でした。松葉町会、松が谷一丁目町会交通部の皆様をはじめ、保護者の皆様、蔵前警察署のご協力のもと、学校周辺の公道を一時封鎖し、安全を万全にしての実施となりました。「箱根駅伝並みの安全対策ですね」とのお声もいただきました。おかげさまで、けが人を出さずに終わることができました。休み時間の練習期間に加え、朝夕に自主的に走る児童の姿も見られ、努力の成果が実を結んだ大会となりました。

また、2月20日(金)には、本校を会場として「東京都小学校国語教育研究会 第36回研究大会」を開催しました。一年間の研究成果を子供たちの姿を通して確かめたいと、都内各校の国語を専門とする先生方を中心に多くの来場者が訪れ、盛会のうちに幕を閉じました。研究大会の開催を通じて、松葉小の児童には確かな国語力が育まれていることを実感しています。

講師としてお越しいただいた文教大学教授であり、日本国語教育学会理事長の甲斐雄一郎先生からは、研究成果へのご講評と今後の研究への助言をいただくとともに、松葉小の子供たちが楽しみながらも着実に力をつけている様子を高く評価していただきました。開催にあたり、台東区教育委員会教育長 佐藤徳久様をはじめ、指導課長様、教育改革担当課長様、指導課の皆様など多くの方々にご支援をいただきました。また、来賓のご案内や接遇においては、PTA本部の皆様にも多大なるご協力を賜りました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

さて、3月は学年の締めくくりの時期です。一年間の学びをしっかりと振り返り、次の学年への準備を進めていく大切な月となります。国語科の学習の充実に加え、台東区教育委員会研究協力学校として取り組んでいる体育科の研究も、1年目を終え、来年度1月29日の研究発表会に向けて、さらに深めてまいります。そして何よりも、松葉小の子供たち一人ひとりが、基礎的・基本的な学力をしっかりと身に付け、進級・進学できるように、教職員一同、力を合わせて年度末まで全力で取り組んでまいります。



4年1組の学習の様子

5年2組の学習の様子